

テーマ展 『花巻の遺跡』

「遺跡」とは、過去の人々の生活の痕跡が残されている場所を指す言葉です。遺跡を調べることで昔の人がどんな暮らしをしていたのかを知ることができます。このことから遺跡は「歴史の宝箱」であり、過去と現在をつなぐ「タイムカプセル」ともいえるかもしれません。

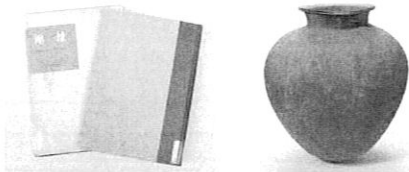
花巻市内では、旧石器時代をはじめとする約1000か所の遺跡が確認されています。本展では、市内の代表的な遺跡から発見された遺構や遺物を紹介し、これまでの発掘調査から少しずつ分かってきた花巻の旧石器時代から江戸時代までの暮らしについて辿りながら、花巻のディープな魅力を探ります。身近な地域の遺跡からわかる昔の人々の暮らしに触れ、地域の新たな魅力を発見する機会となりましたら幸いです。

▶ 展示構成

プロローグ

『遺跡は歴史の宝箱』

遺跡・遺構・遺物や発掘調査と保護について解説します。また、花巻の遺跡発掘調査の先駆けとして1957（昭和32）年に実施された東京大学東洋文化研究所による胡四王山遺跡の発掘調査について紹介します。そのほか、花巻の自然環境や平成30年度までに確認されている市内の遺跡分布図についても展示します。

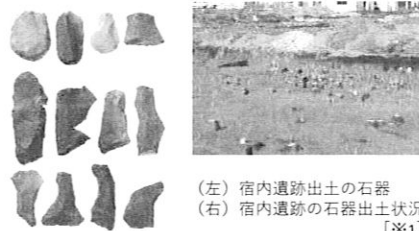


胡四王山遺跡の昭和32年調査報告書「館址」（左）と出土した須恵器甕（右）

第1章 旧石器時代

『花巻における歴史の幕開け』

日本の歴史の中で一番長い時代は、旧石器時代です。宿内遺跡の発掘調査によって出土した資料を紹介し、旧石器時代の暮らしの一端を垣間見ます。



(左) 宿内遺跡出土の石器 (右) 宿内遺跡の石器出土状況 [※1]

第2章 縄文時代

『めくるめく自然と共生ライフ』

花巻市内には岩手県内最古とされる堅穴住居跡が確認された上台Ⅰ遺跡をはじめ、豊富な縄文時代の遺跡があります。時期によって変化する土器の造形と石器や土偶などのさまざまな出土資料を紹介し、創造と創意工夫により自然と共生した縄文時代の暮らしを紹介します。



(左) 下中居Ⅱ遺跡出土の縄文土器 [※4・5] (右) 久田野Ⅱ遺跡出土の土偶

第3章 弥生時代

『続・狩猟採集ライフ』

花巻市内の代表的な遺跡として高松Ⅱ遺跡、滝大神Ⅰ遺跡、アバクチ洞穴があります。これらの遺跡分布は山間部に多い傾向にあり、水田跡は今のところ見つかっていません。発掘調査の出土資料から、当地域の弥生時代の暮らしについて探ります。



(左) アバクチ洞穴の幼児人骨出土状況 [※1] (右) 滝大神Ⅰ遺跡出土の弥生土器 [※6]

第4章 古墳～奈良時代

『南北文化とエミシの世界』

東北地方北部では、近畿地方の勢力を中心にまとまって成立した律令国家の支配拡大という潮流に影響を受けながらも独自の社会が展開しました。エミシと呼ばれた人々の暮らしについて、豊沢川流域に営まれた集落遺跡と熊堂古墳群の出土資料を中心に紹介します。



(左) 古館Ⅱ遺跡出土の土器 (右) 熊堂古墳群（復元）

第5章 平安時代

『律令社会の展開と衰退』

エミシと律令国家の戦いの後、胆沢城・志波城の造営を経て、811（弘仁2）年に糠糠郡が設置され、花巻周辺も律令国家に組み込まれました。律令社会の展開により、新しい技術や文化も浸透しました。移り変わる平安時代の暮らしを似内遺跡や高松山経塚群などの出土資料から辿ります。



中嶋遺跡出土の井戸跡（左）と「千万」墨書土器（右） [※4・5]

第6章 鎌倉～戦国時代

『武家勢力の興亡』

奥州合戦を経て花巻周辺は平泉藤原氏に代わって、源氏の御家人たちが地頭として新たな支配者となりました。当地域の新たな支配者となった稗貫・和賀両氏の興亡の一端を、大瀬川館跡や笹間館跡の出土資料を通じて探ります。



(左) 笹間館跡出土の陶磁器 (右) 大瀬川館跡出土の赤絵皿 [※1]

第7章 安土桃山～江戸時代

『盛岡藩領花巻の時代へ』

南の伊達領と接する花巻は、南部領の要地として花巻城を中心に政治・経済・文化の面で統括されていました。花巻城跡の出土資料を中心に当時の暮らしを紹介します。



(左) 花巻城本丸跡西御門（復元） (右) 花巻城三の丸跡出土の色絵碗 [※1]

エピローグ

『過去と未来をつなぐために』

現在の花巻の様子を撮影した写真を紹介します。



胡四王山から望む宮野目地区の風景

- ※1 花巻市総合文化財センター所蔵
- ※2 丹内山神社所蔵
- ※3 石鳥谷歴史民俗資料館所蔵
- ※4 岩手県教育委員会所蔵
- ※5 (公財)岩手県文化振興事業団埋蔵文化財センター画像提供
- ※6 東和ふるさと歴史資料館所蔵

▶ 関連イベント

☆ 講演会①「御所野遺跡と花巻の縄文遺跡からみえる縄文時代の暮らし」

講師：菅野紀子氏（一戸町教育委員会世界遺産登録推進室文化財主任）
日時：10月20日（土） 13時30分～15時

☆ 講演会②「稗貫・和賀地方における中近世城館の建物文化」

講師：中村隼人氏（日本建築学会会員）
日時：11月17日（土） 13時30分～15時

☆ 館長講座 - 2 「花巻の遺跡」

日時：9月22日（土） 13時30分～15時

☆ ワークショップ 「ミニチュア土器づくり」

日時：10月6日（土） 13時30分～15時
定員：10名
参加費：250円

☆ ギャラリートーク「展示の解説」

日時：10月13日（土） 13時30分～14時30分
場所：花巻市博物館企画展示室 ※入館料必要

（お問い合わせ）

HANAMAKI CITY MUSEUM 〒025-0014 花巻市高松26-8-1
花巻市博物館 TEL:0198-32-1030
E-mail museum@city.hanamaki.iwate.jp

（交通案内）



バス/新花巻駅→買治記念館口
岩手県交通土沢線 イトーヨーカドー行・約5分
花巻駅→買治記念館口
岩手県交通土沢線 土沢駅・約20分
車/花巻ICより約10分
徒歩/新花巻駅より約20分



クマ形土製品
[野原Ⅲ遺跡]

講座、講演会、ワークショップの
場所は全て講座体験学習室です。